

## 【共通科目】

区分	授業科目	授業概要
共通科目	看護倫理	看護実践の基盤となる倫理の基礎的知識について理解する。そして、文献や事例の分析をとおして、自らの専門分野の看護現場において看護職が直面する倫理的問題・葛藤について、関係者間での倫理的調整を行うための倫理的基盤とする。
	統計学	看護の研究・教育を行う上で必要となる統計的手法に関する知識を、統計解析ソフトウェア(主としてR)を使用した演習を通して学習する。具体的には、仮設検定、区間推定、回帰分析、ロジスティック回帰分析、比例ハザード回帰分析などを取り上げる。
	コンサルテーション論	コンサルテーションのために基本的に必要な知識や技術について理解し、コンサルティとコンサルタントの関係性構築のプロセスについて学習を深める。これらをもとに、保健・医療・福祉領域においてより質の高い援助を提供するために、看護管理者、看護スタッフ、CNSが直面する課題を明確にし、解決に向かう方法を検討する。さらに、コンサルテーションの知識や技術の活用について、文献および院生が体験した事例を分析・検討する。また、講義、討論、およびロールプレイ、CNSによるコンサルテーション実践事例に基づく学習などを取り入れる。
	保健福祉行政論	わが国における保健医療福祉行政施策にかかわる課題について国際的な観点から理解し、今後の地域保健福祉サービスの構築のあり方について現状を踏まえ考察する。受講院生が予定している研究テーマを題材として保険医療福祉関連の社会資源とどのように関わっているかを把握・考察することによって、自分が取り組もうとしている研究の社会的な意義および地域保健医療福祉等における看護職の役割を認識することを目的とする。

## 【領域別・分野別専門科目「教育・研究者」コース】

区分	授業科目	授業概要
基盤看護学領域	基礎看護学特論	看護実践の学問的探究の視点から、看護実践への理論とエビデンスの活用、看護実践における研究と教育の動向、看護実践能力育成のための教育的支援について探究し、看護実践を言語化するための今後の課題と展望について考察する。
	看護教育・管理学特論	教育機関及び病院経営に関わる一員として、経営管理者の視点にたったマネジメントが展開できるために必要な知識、技術、能力、方法について修得し、これからの学校経営、看護部門経営、病院経営について考察する。 社会の変化・ニーズに対応した看護専門職の生涯学習としての継続教育のあり方について考察する。
成育期看護学領域	母性看護学特論	思春期から成熟期、更年期、老年期へと変化する過程で、女性が経験する心身社会的な変化について、国内外の文献や事例をもとに、近年の母子保健状況と母子を取り巻く環境から、現代社会の母子が抱える健康問題とその介入方法について考察する。
	小児看護学特論	小児看護の対象である子どもと家族に関する援助について基本的な概念を学び、それに基づき効果的な援助の方略を探求する。また、小児看護学における動向・課題を明確にし今後の対策や改善策等を検討する。
精神看護学・地域領域	地域看護学特論	地域看護分野における研究方法や情報分析の諸理論を学び、地域看護にかかわる課題を研究的に解決するための学修を深める。地域で生活する疾病や健康課題を持つ人々とその家族の支援に関する諸理論・活動の展開方法を理解し、効果的な在宅看護活動のあり方を探究する。

## 【領域別・分野別専門科目「専門看護師」コース】

区分	授業科目	授業概要
精神看護学分野	精神保健看護学Ⅳ	精神看護専門看護師が行う治療的介入技術として、治療的面接の基本技術としてのカウンセリング技術の基本と、力動的な支持的精神療法をはじめ、個人・集団・家族という対象の広がりを持った療法の技術、行動や認知に焦点を当てた各種精神療法の介入技術を学ぶ。
災害看護学分野	災害看護学Ⅳ	災害の発生からの時間軸に沿って、災害急性期の命を救う活動、避難所や仮設住宅での生活をする人たちへの看護活動を含めて、災害に備えた準備や訓練等を行う静穏期の看護活動について深く探求する。それぞれの看護活動を行う際に、どのようにアセスメントを行い看護活動につなげることができるのかを検討し、具体的な災害事例を通して災害時における看護活動について理解を深める。
	災害看護学Ⅴ	災害の被害を少なくする為に、個人・家族・地域・医療機関などの防災・減災に向けた体制づくりについての原理と援助方法をHUG等の演習を通して学ぶ。さらに、地域住民や医療従事者に対して、災害看護教育の専門家として、これからの巨大災害への備えの重要性について検討する。
	災害看護学Ⅵ	災害時に支援ニーズの高い対象（小児・妊産褥婦・高齢者、障がい者等）が持つ健康問題とそれに対する援助方法を修得する。特に上記のような災害時要配慮者は、それぞれに個別の問題を抱えており、看護援助を検討するための一つのツールとしてPCM (Project Cycle Management)を活用し、PCMの演習を通して災害時要援護者の看護援助について修得する。
	災害看護学Ⅶ	国内外の災害現場における、災害サイクル別の危機的状況に対して、看護専門職や他職種等との連携のあり方、行政や関係機関との連携支援システムや災害看護コーディネーターの役割等について、理解を深める。国内外の事例を通して、災害各期における専門職の連携と多職種との連携の重要性を深く探求する。